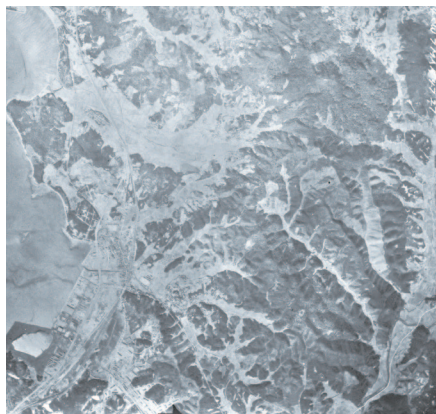




昭和 49 年（高度経済成長期）



昭和 22 年（戦争直後）



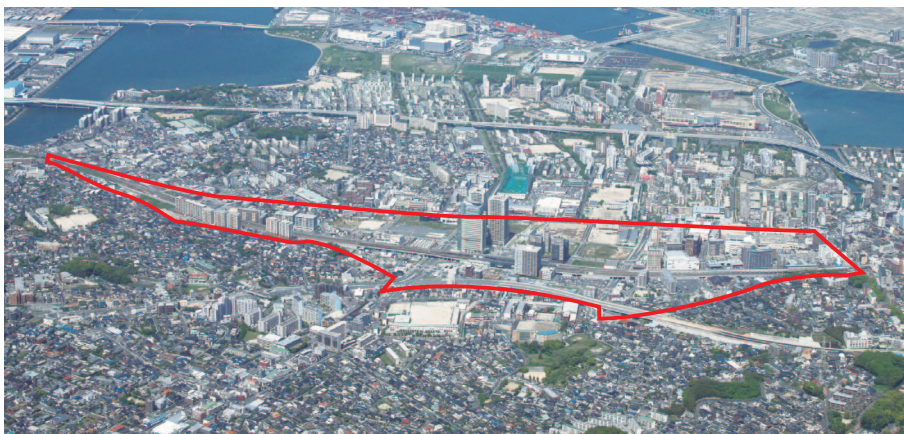
昭和 63 年（バブル期）事業着手前

香椎副都心地区 / 福岡市東区

当地区は平成 6 年から約 20 年をかけ、区画整理事業により香椎操車場跡地一帯の鉄道高架化、道路・公園などの公共施設整備や既存市街地の改善を進め、新たな交通結節点の形成と都市機能拠点の整備を行いました。

地権者数約 700 人の換地調整や約 300 戸の建物移転、鉄道路線の高架化を行った大事業です。

現在は、大規模マンションや事業者ビル、公共公益施設が立地して、福岡市域の副都心機能を果たしています。



平成 24 年（事業概成時点）

香椎副都心地区

面積：66.3ha

総事業費：635 億円

施行期間：平成 6 年度～ 30 年度
(清算期間含む)

名島千早線沿道の施設などの立地状況



施設などの立地が進む千早駅周辺の中心ブロック